

特集

知っていますか？ 地域の中学校

嵐山町立菅谷中学校と玉ノ岡中学校

4000人を超える生徒が通う嵐山町の町立中学校。過去に通っていた方、現在通っている方、これから通う方、お子さんを通して関わっている方など、皆さんも様々な立場で中学校との関わりがあるかと思えます。

そこで、現在の菅谷中学校と玉ノ岡中学校の教育方針や状況などについて紹介します。校長先生へのインタビューも行い、教育や学校に関する考えや「想い」を伺いました。

嵐山町が誇る学校教育について、お知らせします。

嵐山町立菅谷中学校

●学校の歴史について

菅谷中学校は、昭和22年に菅谷村立菅谷中学校として設置されました。学校沿革誌には、当時の生徒数は311人、職員数は12人、学級数は7と記録されています。現在の校舎は、昭和59年に完成しました。

●校章や校歌、学校のシンボルについて

校章については、嵐山重忠公の家紋のデザインが基という話があるそうです。



菅谷中学校校章

校歌は、校旗とともに昭和31年に制定され、安岡正篤氏監修のもと、当時の校長の安藤専一先生が作詞を、音楽教育家 牧野統氏が作曲をしました。

●生徒数、クラス数の推移や現状について

現在の生徒数は236人、学

学級数・生徒数一覧		
	学級数	生徒数
1 学年	2	67
2 学年	3	81
3 学年	3	86
特別支援	2	2
合 計	10	236

級数は10です。生徒数が一番多かったのは昭和57年で805人、当時は20クラスあったそうです。

●目指す学校像や学校教育目標について

目指す学校像・生徒像は、「絆のもと、挨拶と笑顔あふれる元気な学校」「自ら考え判断し正しい行動のできる生徒」です。「挨拶」と「正しい行動のできる生徒」ということに重点を置いています。

●特色ある授業について

今年度から、タブレットを使った授業を行っています。理科、数学、社会など、色々な授

業で活用しています。タブレット使用については、職員同士で自主的な研修や情報共有を図り、授業にどのように効果的に使用できるか研究し取り組んでいます。また、社会福祉協議会に依頼をして、盲導犬を連れてきた話を聞く機会を設けたり、実際に盲導犬と触れ合ったりする授業も行っています。

●部活動について

部活動数は8部です。生徒数の減少で選択肢が少なくなっていますが、熱心に活動しているところです。

部 活 動 一 覧	
野球	男子
ソフトテニス	男子・女子
バスケットボール	男子・女子
剣道	男子・女子
バドミントン	女子
バレーボール	女子
吹奏楽	男子・女子
芸術	男子・女子

●活躍している卒業生について

バレーボール選手の米山裕太さん(東レアローズ)、米山達也さん(サントリーサンパース)、サッカー選手の小池純輝さん(愛媛FC)がいます。



文化祭テーマ「発展」を掲げ校歌を合唱



小中合同保健委員会



小中合同避難訓練

また、小中合同避難訓練という取組もしています。災害を想定して、中学生が小学生をリードし、所定の場所まで送ります。災害時、自分たち中学生は守られる立場ではなく、子どもやお年寄りをサポートしなければいけないという認識を持ち、生徒の自主性を育てるための訓練です。

●生徒が主体となって行う独自の取組はありますか。

生徒会では、「地域のクリーン作戦」として通学時にゴミを拾う活動をしています。もう

一つ力をいれていることは、やはりあいさつ運動です。PTAや大妻嵐山中学校の生徒さんと一緒に、校門前で元気に挨拶をしています。地域の方たちも挨拶を返してくれることで、生徒たちの励みになっています。

先程も述べた合同避難訓練だけでなく、委員会活動でも小学校・中学校が連携しています。先日小学校・中学校の保健委員

会で合同発表会を行いました。生徒にとつて、小学生と交流することで、年上としてしっかりとしなければという意識が育ちます。小学生にとつても、中学校の様子を聞くことができたり、知り合いができたりにして中学校に対する安心感が生まれると思います。

教員同士も連携し、小中で研究授業などを行っています。通常、研究授業というのは日時が決まっていることが多いですが、一週間研究授業期間を設け、いつでも見に行けるようにしています。

また、2月には、小学校6年生を対象に、部活動の入部体験を行っています。4週にわたる期間を設け、色々な部活の体験ができるようにしています。入学してからの入部体験は珍しいですが、入学前に体験できる学校はそうそうないと思います。中学への安心感や期待を持ってもらいたいという気持ちもこめられています。

PTA活動の特徴はあります。本校のPTAは菅谷小学校と菅谷中学校、小中合同で行っています。これは、全国的にも非常に珍しいと思います。PTAの皆さんは、積極的に活動してくれていて大変ありがたいです。



生徒の活躍の写真が通路に貼られています



PTA資源回収

す。合同で除草作業や資源回収を行います。PTAで行う資源回収の利益は、部活動に使うなど使用目的をはっきりとさせ、生徒に還元されます。今後でも協力をお願いいたします。活動は熱心ですが、小中合同でPTA活動を行うことで、一人ひとりの保護者の負担は軽減されている部分があると思います。

●最後に学校や教育への「想い」を聞かせてください。

菅谷中学校は、伝統と文化がある学校です。私は旧校舎の時代から菅谷中学校を知っていま

鈴木義宏校長先生へのインタビュー

菅谷中学校のいろいろなことを教えてください。

菅谷中学校の生徒は挨拶をとてもよくします。月に1回、生徒会が主催で行う朝の挨拶運動にも非常に熱心に取り組んでいます。また、行事には、全員が力を合わせ、一つになって取り組むことです。

●特色ある行事について教えてください。

菅谷中学校独自の行事といえば、何といっても12月半ばの休日に有志の生徒・保護者で行う門松作りです。今年度も、菅谷小学校の分も含めて3対の門松を製作しました。門松づくりに参加した生徒や保護者には、「学校ファーム」で採れた野菜を使ったけんちん汁をふるまいます。



門松作りの様子



鈴木義宏 校長先生

経歴 宮城県出身。昭和55年に新任の数学教師として七郷中学校で教鞭を執り、分離統合で玉ノ岡中学校へ。その後、昭和60年に菅谷中学校へ異動。様々な中学校で教員生活を送り、平成27年に飯能市立美杉中学校から菅谷中学校へ異動。

ですが、昔は生徒数が多かったです。少子化の今、生徒たちも少しずつ変化し、学校も時代に合わせた変化が必要になってきています。しかし、生徒の成長のために必要なことの根本は変わらないと思います。菅谷中学校の良さは、元気で明るい挨拶ができる生徒がいること。そして小中一貫の教育も大きな強みです。小学校だから、中学校だからという壁を少なくし、教員も一丸となって色々な側面から生徒をサポートしていきたいと思っています。保護者や地域の方々のご協力も欠かせません。今後とも、菅谷中学校をよろしくお願いたします。

ありがとうございます。